

● トマトを作る農家では、どんなくろうやくふうがあるのでしょうか。

■ 雨よけさいばい



農家の人の話



ビニールハウスをつかわず、外で作もつをそだてることを「ろ地さいばい」といいます。町のトマト作りでは、雨や風から作もつを守るために、ビニールハウスをりようしています。それで、町では「雨よけさいばい」といいます。大雨がふったり、つよい風がふいている時がいには、左のしゃしんのように、ハウスの下のぶぶんをあけておくようにしておきます。

トマトがたくさんできるよう、ひもにめをからませて上のはり金にむすびつけます。この「ゆういん」のしごとはしゅうかくがおわるまでずっとやります。しゅうかくする時は、大ききごとにわけてとったり、何日で買う人にとどくか考えてとったりしなければなりません。しゅうかくがおわると、ハウスをかたづけ、土にひりようをまぜ、つぎの年のなえ作りにひつような土作りをします。

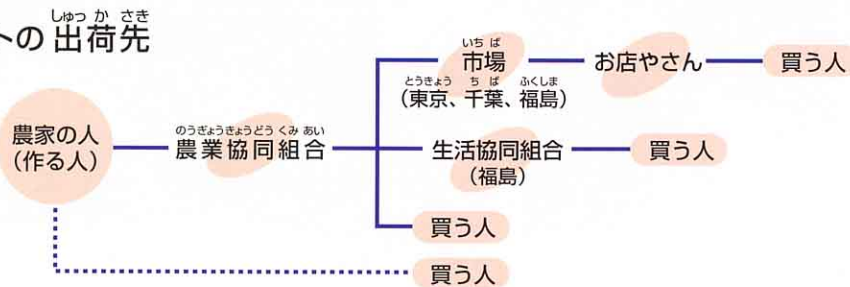
ゆういんのしごと



しゅうかくのしごと



■ トマトの出荷先



■ トマト作りのこよみ

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	たねまき		仮植		定植		しゅうかく					
	なえばこのじゅんぴ		根ざらし		かん水		ついひ		しょうどく		ゆういん	